

在宅医療の推進に向けた意見

公益社団法人 日本看護協会

平成23年7月13日

第5回 医療計画の見直し等に関する
検討会

訪問看護ステーション数・利用者数ともに伸び悩んでいる 小規模な事業所が多い

- 訪問看護ステーション数は全国で約5,700か所（2010年4月現在）、利用者数は約28万人であり、ここ数年伸び悩みが続いている。
- 訪問看護ステーションの半数以上が、常勤換算職員数5人未満の小規模事業所である。

図 訪問看護ステーション数・利用者数の推移



【出典】「訪問看護統計調査」(1994～1998)、「介護サービス施設・事業所調査」(2000～) ※利用者数は医療保険・介護保険を合わせた1ヶ月分の実績

図 訪問看護ステーションの職員数(常勤換算)



※訪問看護ステーションの
人員に関する基準:

保健師、看護師又は
准看護師について、
常勤換算方法で、
2.5以上となる員数

【出典】日本看護協会「訪問看護事業所数の減少要因の分析及び対応策の在り方に関する調査研究事業」
(平成20年度厚労省老人保健事業推進費等補助金)

訪問看護に従事する看護職員数も伸び悩んでいる

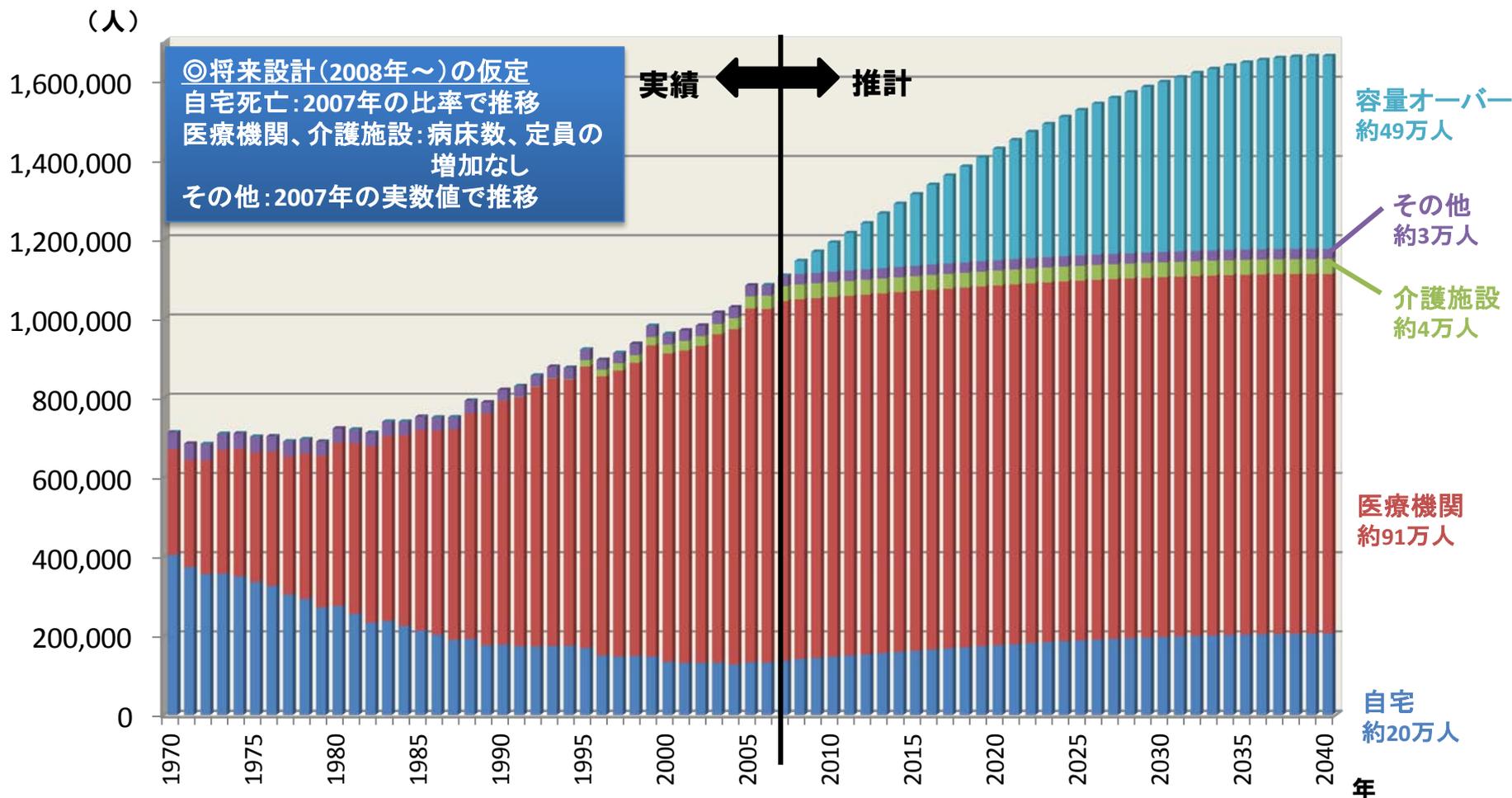
- 介護保険制度開始以降、訪問看護従事者数はあまり伸びていない。
- 2008年現在、就業看護職員約140万人中、訪問看護に従事する看護職員はわずか2.0%である。

図 就業看護職員数・訪問看護従事者数の推移



高齢・多死社会における「看取り」

●多死社会到来に向け、「在宅看取り」の支援体制構築が喫緊の課題である。



【出典】中央社会保険医療協議会(平成23年5月18日)資料「わが国の医療についての基本資料」

【原典】2007年までは「人口動態統計」、2008年以降は「将来人口推計」に基づき、推計

必要訪問看護師数の推計

●2015年には約4万人、2020年には6万人を超える訪問看護師が必要になると推計されている。

● 2008年 27,662人*



【出典】

* 「衛生行政報告例」(平成20年)

** 「第七次看護職員需給見通しに関する検討会報告書」(平成22年12月)

*** 医療経済研究機構「訪問看護の需給に関する研究」(平成21年度老人保健健康増進等事業による研究報告書)

在宅医療提供体制に求められる機能

1. 24時間365日の緊急対応を行う機能

- ・ 夜間・緊急時を含め、24時間365日対応可能な訪問看護の体制 等

2. 家族・本人に負担のない長期的な在宅療養の継続と在宅看取りを支える機能

- ・ 家族のレスパイトに利用できるような、医療依存度の高い利用者にも対応可能なショートステイやデイサービスの整備
- ・ 看取りのためのケアを提供可能な介護施設や居住系施設等の整備 等

3. 地域における関係機関や多職種連携を図る機能

- ・ 入院中、または外来通院中から円滑な在宅移行を支援するための退院調整部門の整備、外来での支援機能の強化
- ・ 地域での多職種協働によるケアカンファレンス等の実施 等

4. 疾病や年齢を問わず在宅療養を可能にする地域の連携体制を図る機能

- ・ 小児の在宅療養に対応可能な訪問看護ステーション、および患児の状態悪化時や家族のレスパイトに利用できる小児対応のショートステイやデイサービスの整備
- ・ 介護保険制度、障害者自立支援法など、複数の制度にまたがるサービスの調整機能の確保 等

5. 在宅医療に関わるマンパワーの育成・確保

- ・ 看護師養成機関等との連携に基づき、新卒者または再就業者で訪問看護に従事する看護師の養成体制の整備
- ・ 訪問看護ステーションにおける教育研修等の受け入れ体制の整備 等